

令和8年度(前期日程)

入学者選抜学力検査問題 英語 出題意図

**I 【択一式と記述式等による英問英答問題】**

視覚と聴覚を偏重する現代の傾向に対して、五感の重要性について述べた英文を読み、内容を正確に理解できているかを問う問題群。私たちは、生きる上で不可欠な感覚を視覚だと考えがちだが、実際には嗅覚であることが指摘されている。たとえば、匂いは人の健康や年齢、人柄を知る手がかりとなるなど、社会的コミュニケーションでも重要である。また、私たちは特定の匂いを、聴覚や視覚の情報と関連付けて学習する。幼少期に五感による情報のインプットが少なければ、ある匂いや触覚を分類したり、それらが意味するものが判断できなくなるなど弊害が大きい。現在、多感覚に働きかける技術の開発も進み、商業上の利用も盛んになっているが、一方で、嗅覚や味覚が私たちの感情に直接影響を与えることから、これらの技術がギャンブルなどに悪用される危険性も懸念されている。本文の要点を正確に理解し、択一式問題と正誤問題に解答した上で、重要ポイントについて、本文の該当箇所を抜き出すのではなく、自分の言葉(英語)で説明することが求められる。

**II 【日本語での記述式問題】**

AIを活用した研究が評価対象となった2024年ノーベル物理学賞及び化学賞に関する英文[A][B]を読み、内容理解を問う問題群。[A]では、科学におけるAIの役割が評価されたことで、今後、従来の理論などを覆す革新的な仕事はAIが行い、科学者はそのためのツールを作り、それによって称賛されるのではないかという懸念が示されている。また、ノーベル賞創設当時と比べて、現在の科学研究が分野融合型で、チームで実施する体制になるなど大きく変化しており、単一分野の一人の天才を評価していたノーベル賞が時代に合わなくなっている問題も指摘されている。一方、[B]では、ノーベル物理学賞受賞者ジェフリー・ヒントン氏が警告しているAIの潜在的危険性、すなわち、AIが人間の能力を上回り支配権を握るだけでなく、人間の目標とは異なる目標を追求するようになる可能性について述べている。科学者とAIの関係を、異なる角度から考察した[A][B]の内容を正確に理解し、重要ポイントを説明することが求められる。

**III 【英語による論述問題】**

与えられた質問に対して、自分の考えを具体例や自らの経験などに関連づけて説明することを求める問題。150語から200語程度で答えることが求められるが、重要なのは内容であり、所定の解答欄に記入できていれば、語数を意識しすぎる必要はない。

次の4つの観点で評価する。

- (1) 関連性: 議論の展開をサポートする考えや例などを効果的に用いているか。
- (2) 論理構成: 文をつなぐ語句を適切に用いて、論理的に一貫性のある文章を構成できているか。
- (3) 語彙・文法: 幅広い語彙や多様な文構造を用いて、伝えるべき内容を適切に伝えられているか。
- (4) 全体構成: 出題の意図を正しく理解した上で、まとまりのある構成で説得力のある文章が書けているか。